

2022年度第2期生 歯科衛生士復職支援・研修プログラム

研修コース概要

専門基礎研修

区分	コース	コード	科目	講習分類		内容	期間	定員	
				講義	実習				
必修	基本業務・ 口腔健康管理	A-1	歯科衛生過程に基づく口腔健康管理	○	○	歯科衛生過程に基づく全身疾患や口腔内の状況に応じた口腔衛生管理を、情報収集、問題の明確化、歯科衛生計画・立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価及びそれらの書面化について講義及び実習を通じて学修する。	1日	18	
		A-2	スケーリング・ルートプレーニング (1)(2)	○	○	ハンドスケーラーの操作方法やシャープニングを講義及び実習を通じて学修する。また、超音波スケーラーやエアスケーラーについても講義及び実習を通じて各種チップの使い分け、口腔内の状況にあわせた使い方を学修する。	2日	18	
		A-3	歯科材料・機器・診療補助	○	○	歯科材料と機器は常に改良され、新しい製品が臨床に使用されている。研修時において使用頻度が高い若しくは最新の歯科材料と機器の情報を知り、取扱い方法と診療補助を学修する。	1日	18	
		A-4	口腔機能リハビリテーション	○	○	摂食嚥下障害の検査法とリハビリテーションの方法を講義と実習で学修するとともに、口腔機能低下症の検査法についても学修する。	1日	18	
	訪問診療	A-5	訪問歯科診療	○	○	訪問歯科診療の概要、具体的な実施要領、歯科衛生士としての業務を学修するとともに、訪問診療で用いる器材の準備、訪問先での設置及び片付けについての学修を行う。	半日	18	
	接遇・管理	A-6	感染予防	○	○	歯科医療現場における感染予防に関する基本的事項と対策を、本学附属病院の院内感染防止マニュアルを含めて学修し、実践能力を養成する。	半日	18	
		A-7	医療コミュニケーション	○	○	適切な患者とのコミュニケーション、医療従事者間のコミュニケーションやクレーム時の対応について学修する。	半日	18	
		A-8	医療安全	○	○	歯科医療現場における医療事故の防止は、非常に重要な課題である。どのような安全対策を講じて実施する必要があるかを、本学附属病院での例を取り上げながら講習する。	半日	18	
	選択	接遇・管理	B-1	全身管理	○	○	高齢患者の増加に伴って、全身疾患を持つ患者の対応が重要になる。全身疾患を有する患者への対応を学修し、生体情報モニタの利用法を修得する。	半日	18
			B-2	周術期の口腔機能管理・口腔インプラント	○	○	周術期における口腔管理の効果、多職種連携について学修するとともに、本学附属病院病棟での口腔衛生管理について学修する。インプラント治療について術前からメンテナンスまでの口腔衛生管理について学修する。	半日	18
保険業務		B-3	保険診療と診療報酬	○	○	歯科医療に関する保険制度は改正が行われてきている。そこで、現在の医療保険制度、歯科衛生士業務を中心とした保険制度に基づく処置及び歯科診療報酬について学修する。	半日	18	
		B-4	電子カルテ	○	○	電子カルテへの理解が歯科衛生にも求められる。そこで、電子カルテの仕組みを学修するとともに、本学附属病院で採用している電子カルテの利用法を学修する。		18	
接遇		B-5	歯科英語実践講座	○	○	外国人患者の対応に必要な英語をチェアへの案内や問診などの場面に応じて研修します。	半日	18	

2022年度第2期生 歯科衛生士復職支援・研修プログラム  
研修コース概要

臨床研修

区分	コース	コード	科目	講習分類	内容	期間	定員
				臨床実習			
選択	臨床実技	C-1	保存修復科	○	保存領域での治療に入る前の患者の口腔衛生管理を研修する。精神・心理面での対応が難しい症例ではコミュニケーション手法を研修する。白い歯外来や口臭外来の診療補助、また、歯周手術の見学と手術用器材・器具の準備についても研修する。	5～15日	2
			歯内治療科	○			
			歯周治療科	○			
		C-2	高齢者歯科	○	高齢者歯科診療室で70歳以上の高齢者及び総合病院入院患者に対する訪問歯科診療での診療補助と口腔機能管理についても研修する。また、ドライマウス外来での口腔乾燥患者に対する検査について研修する。	5～15日	2
		C-3	補綴咬合治療科	○	補綴処置に入る前の口腔衛生管理（歯周初期治療を含む）と補綴処置終了後の定期検診を研修する。	5～15日	2
		C-4	口腔外科	○	本院に入院して手術を受ける患者全員の術前から入院中、退院後までの口腔衛生管理を研修する。口腔癌の症例では放射線治療・化学療法中のメンタルサポート、術後のリハビリについても研修する。また、他院からの難拔牙・歯槽整形・嚢胞摘出・顎骨骨折の整復・固定などの器具の準備についても研修する。	5～15日	2
		C-5	矯正歯科	○	矯正治療中の患者の口腔衛生管理を研修する。（顎変形症のケースは術前からの介入で術前のブラークフリーに繋げる）また、矯正装置の器具・器材の管理業務を研修する。	5～15日	2
		C-6	小児歯科・障がい者歯科	○	乳児から15歳未満の発育過程にある小児を対象とする総合診療を研修する。身体のみならず精神面で問題を抱えている患者へのトータルサポート、また、開業歯科医院で難しいとされる歯科治療の全身麻酔下での施術に対しての診療補助業務も研修する。	5～15日	2
		C-7	口腔インプラント科	○	インプラント施術患者の術前から定期健診までの口腔衛生管理について研修する。また、手術に使用する器具・器材の準備から使用後の洗浄・滅菌までの過程を研修する。	5～15日	2
C-8	総合診療科	○	初診患者の接遇や紹介元医療機関との地域連携、また、総合治療計画に基づく歯科診療を終えた患者の定期健診（歯周病安定期治療など）、関連病院から依頼された周術期口腔ケアなどについて研修する。	5～15日	2		
C-9	口腔リハビリテーション科	○	顎顔面領域に障がいのある患者、あるいは加齢に伴い口腔機能が低下した患者の専門的検査とリハビリテーションの実践を研修する。	5～15日	2		